

ふかまちのまど

第二四四号 一四年九月一日
発行元 深町連合町内会
連絡先 六三三三八八二

連合町内会活動報告

盆行事のお礼

連合町内会副会長 林洋祐
多くの皆様が、ご参加下さいました事衷心より、お礼申し上げます。
子ども会様、女性会様その他各団体様が盆行事を盛大にするため、夜店を出して下さったり、踊り大輪に踊りながら活動頂きの大変な御苦労がございました。天候不順で対立がございましたが、所奉納有り難うございました。町内各町内役員様各ご家庭共何となく多忙の中、早朝より準備頂きまして、心からお礼申し上げます。



皆様の力を頂きまして、雨となりまして、盆行事に配りながら、今年度進行致しまして、感謝と敬意の言葉を代表で、安藤市会議員様にお言葉をお願いいたします。
盆踊りは、上組西本一三三様、のどきにて、沢山の皆様、踊り下さいました。ヤッサイ、晴れやかに踊られたのが、近将来、深町の盆踊りを継承して、最後はお楽しみ抽選会を終了致しました。誠に有難うございました。
お陰です。誠に有難うございました。

第十回三原市民体育大会
(十月十二日) 出場者
募集について

参加希望者は各講(班)の体育委員まで申し出て下さい。

女性会だより

「絵手紙を書いてみませんか」



どなたでも参加できます。

とき 九月二十八日(日)
九時三十分～十一時

ところ 深町民会館

参加料 無料

参加連絡先 九月二十二日までに
63-3912(船本)

準備できる方は小筆等ご持参ください。

深小だより

「深小学校の子どもたち」
一学期を終えて

深小学校 校長 赤羽邦子

深小学校に赴任して、一年が過ぎました。子どもたちの成長を感じることが、うれしいです。今年度は、深小学校は、学校教育目標を「児童の志を伸ばし、心豊かな子どもを育てよう」とし、授業改善を進め、子どもたちの学びの楽しさを引き出すことに努めました。また、地域との連携を深め、子どもたちの生活に寄り添う取り組みを行いました。一学期を終え、子どもたちの成長を感じ、励みになります。引き続き、子どもたちの成長を応援していきます。



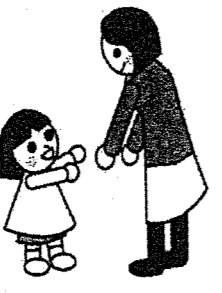
深小学校には、これまでに育まれてきた伝統(宝物)が、先生や職員、保護者、子どもたち、地域の方々とともに、大切に守られてきました。今年度も、この伝統を継承し、子どもたちの成長を応援していきます。また、地域との連携を深め、子どもたちの生活に寄り添う取り組みを行いました。一学期を終え、子どもたちの成長を感じ、励みになります。引き続き、子どもたちの成長を応援していきます。

授業の時間を確保し、子どもたちの学びの楽しさを引き出すことに努めました。また、地域との連携を深め、子どもたちの生活に寄り添う取り組みを行いました。一学期を終え、子どもたちの成長を感じ、励みになります。引き続き、子どもたちの成長を応援していきます。

「ふかまちのまど」 ホームページのアドレスは
<http://www.jcat.ne.jp/fuka/top.html>

教室も静かに授業が始まっています。この時間は、子どもたちの生活する上で大切な時間です。授業の時間を確保し、子どもたちの学びの楽しさを引き出すことに努めました。また、地域との連携を深め、子どもたちの生活に寄り添う取り組みを行いました。一学期を終え、子どもたちの成長を感じ、励みになります。引き続き、子どもたちの成長を応援していきます。

深の里びびよハウスのご案内
九月の深の里びびよハウスは、小麦粉粘土やセリで遊びます。さまざまな感覚を楽しみましょう。未就園児の皆さん、ぜひおいでください。お待ちしております。



「ませませこねこねして、あそぼう！」

日時 九月九日(火) 十時

場所 深幼稚園

持参物 水筒(水分補給用) 汚れてもいい服

お問い合わせ先 深幼稚園 六七七三三八

団体名	開催日
連合町内会	十五日
敬老会	十五日
女性会	二十八日
絵手紙講習会	二十八日
サンライズ大池	十三日
敬老祝賀会	十三日
小学校・幼稚園	一日
始業式・学区児童会	一日
防災訓練	三日
参観日・給食試食会	四日
誕生会	八日
びびよハウス	九日
放課後子ども教室	十日
英語活動	十日
クラブ活動	十七日
修学旅行	十八日
祖父母参観日	十九日
体罰セクハラ相談日	二十五日
遠足	二十五日
社会見学	二十六日
如水館見学	二十六日
始業式	二日
身だしなみ週間	二日
夏休みあけテスト	三日
面接週間	四日
体験模試	五日
ベネッセ駿台マーク試験	九日
水明祭	二日
観劇会	二日
全校朝会	五日

展望席
実りの秋、稲も実りもかっつた十月でしたが、田植えが早くなりました。農作物は幾多の災難にも遭い、食糧不足です。とりわけ、食糧不足となり収穫の寸前にカラサや猪などの鳥獣に食べられることが多々あります。秋になっても何時になっても実ることのないのが、男はつらいよのフーテンの寅さんの恋です。偶然の出会いで好きになった女性に子供のような心を持って、見返りを求めず生真面目に無償の愛を貫きます。失恋をしても相手を恨むこともなく、サラッと水に流して旅に出ます。寅さんの人気は、渥美清さんの個人的な演技もさることながら、そんな寅さんの心意気に共鳴する人も多いのではないのでしょうか。

私(紙谷謹二)は、「ふかまちのまど」の初代編集長・平岡功一さん(故人)から平成十四年十月号よりその職務を引き継ぎ、同時に「展望席」を継続して執筆すること引き受け、今回(平成二十六年九月号)でちょうど十二年になりました。私の一方的で勝手な想いを書かせて頂き、いつもこんな内容でよいのだろうかと思いついて、執筆以来いまだに実りを実感するものになっていません。十二年といえは義務教育と高校生活を終える年数でもありません。そこで、このあたりで「展望席」の執筆を卒業することに致しました。長年にわたり拙文をご愛読くださいました皆様に心より感謝し厚くお礼を申し上げます。

